

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立浦和工業高等学校	Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が明確に示されている学校像である。学校の現状や課題、地域からの期待をより広く把握・分析し、目指す学校像を更に具体的かつ魅力あるものにしていただきたい。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、中期的な視点から重点目標が設定されている。学校の取り組むべき課題が「基礎学力や技術・技能の習得」、「キャリア教育の推進」等、明確に示されており、日々の教育活動の指針となっている。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。評価項目や方策が重点目標を実現するものとなるよう、より重点化して具体性のあるものにし、組織的な体制を整備していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	企画委員会が中心となって方策を策定し、課題解決のために取り組んでいる。評価指標については、方策の達成状況を評価するものとしてやや抽象的である。取組指標と成果指標をうまく組み合わせることで分かりやすいものを設定し取組を検証することが望まれる。
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえた学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長が状況に即して的確にリーダーシップを発揮し、課題解決の方向を示している。目標の達成に向けて更に組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなるよう各種アンケートの工夫を進め、更に学校関係者の意見やアンケートの結果等を分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。
特記事項		